

治安等に関するアンケート結果 (第12回：令和4年1月実施)

- テーマ
「治安等に関するアンケート」
- 調査目的
県民の皆様の治安等に関する御意見を伺い、安全に安心して暮らせる鹿児島を創造するための警察活動に役立てるため。
- 実施時期
令和4年1月
- 対象者数
200人
- 回答者数
174人(87.0%)



令和4年3月

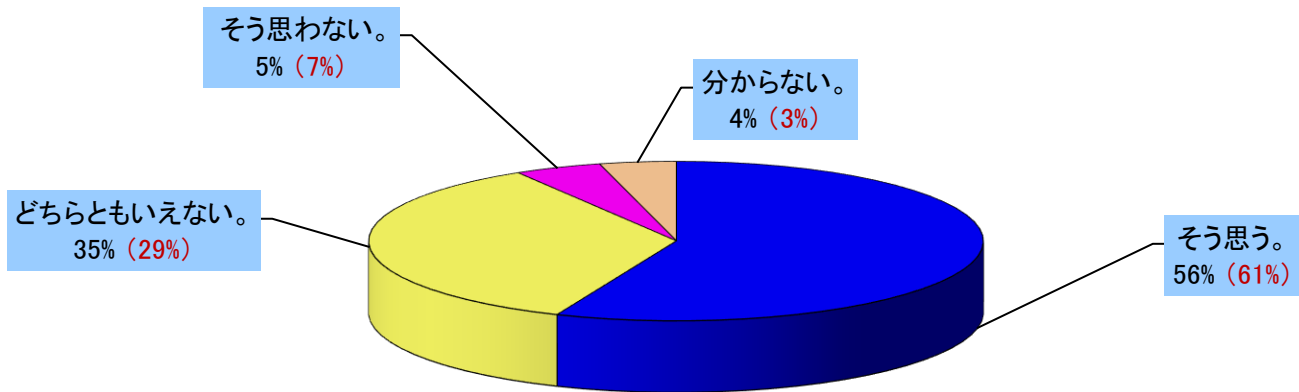
鹿児島県警察本部



1 鹿児島県の治安について

※()は、前回アンケート結果(令和3年1月実施)

問1 現在の鹿児島県が、治安が良く、安全で安心して暮らせる県であると思いますか。

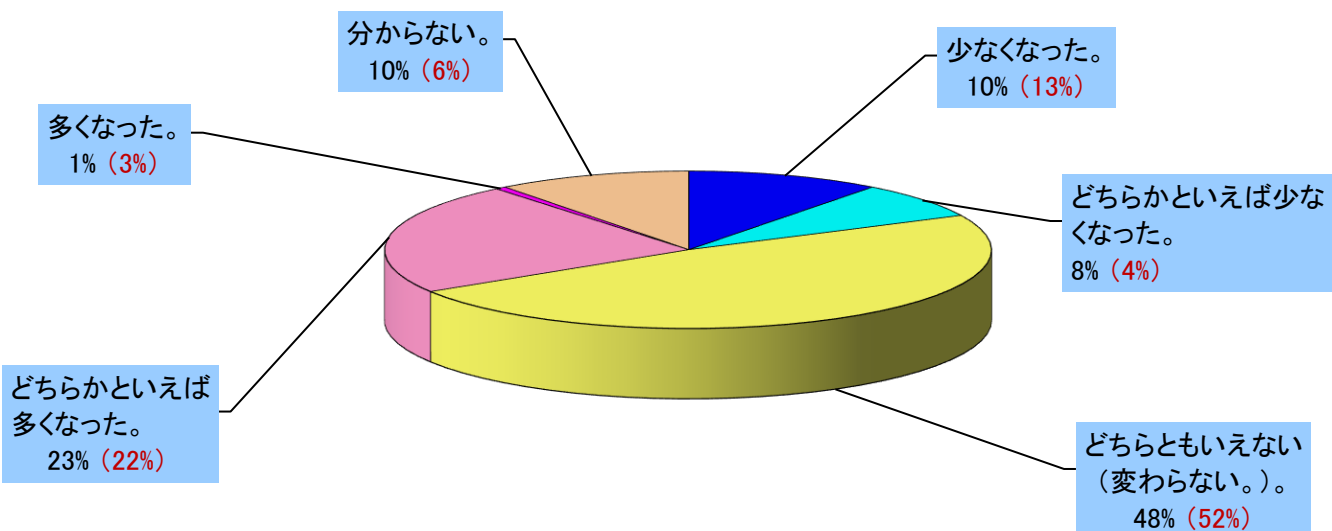


「現在の鹿児島県が、治安が良く、安全で安心して暮らせる県であるか」について、「そう思う。」と回答した方は56パーセントで、前回の調査時より5ポイント減少したものの、12年連続で半数を超えた。また、「どちらともいえない。」と回答した方は35パーセントで、前回の調査時より6ポイント増加した。

一方、「そう思わない。」と回答した方は5パーセントで、前回の調査時より2ポイント減少した。

※()は、前回アンケート結果(令和3年1月実施)

問2 あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思いますか。



「あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった。」又は「どちらかといえば少なくなった。」と回答した方は18パーセントで、前回の調査時より1ポイント増加した。

また、「多くなった。」又は「どちらかといえば多くなった。」と回答した方は24パーセントで、前回の調査時より1ポイント減少した。

問3 問2について、その答えを選んだ理由は何ですか。(自由記述)

「あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思いますか。」という問を選んだ理由についての主な回答は以下のとおりとなります。

「少なくなった」「どちらかといえば少なくなった」と思う理由

〈主な回答〉

- ・ 身近な人から犯罪の話を聞かない
- ・ 交通事故や凶悪事件が減ったように感じる
- ・ パトカーでの巡回が多くなった、それが犯罪の抑止になっていると感じる
- ・ 警察等と呼ぶことはなく、パトカーのサイレン音を聞かない
- ・ コロナの影響で島外から人が来ることも少なくなったことで不安が減った

「どちらともいえない(変わらない)」と思う理由

〈主な回答〉

- ・ 人のことは分からない、犯罪については予測できない
- ・ ニュースで知る限り、都会と県内の出来事に差が無いように感じる
- ・ 警察の広報紙を読んでも万引き等の数が減らない
- ・ 元々身近に犯罪がない、事件や事故は増えたり減ったりしていないように思う
- ・ コロナの影響で交流が減り、どちらとも言えない

「多くなった」「どちらかといえば多くなった」と思う理由

〈主な回答〉

- ・ 県内で殺人事件や交通事故のニュースを多く目にする、他人事ではないと感じる
- ・ 全国で予期せぬ犯罪に巻き込まれる方が多く、都会や地方も関係ない
- ・ 県警あんしんメールやSNS等で不審者情報をよく目にする
- ・ 高齢者を狙った犯罪が多発しているように感じる
- ・ コロナの影響で他人と接する機会も減り、交流も少なく、いつ誰が事件に巻き込まれてもおかしくないと思う

「分からない」と思う理由

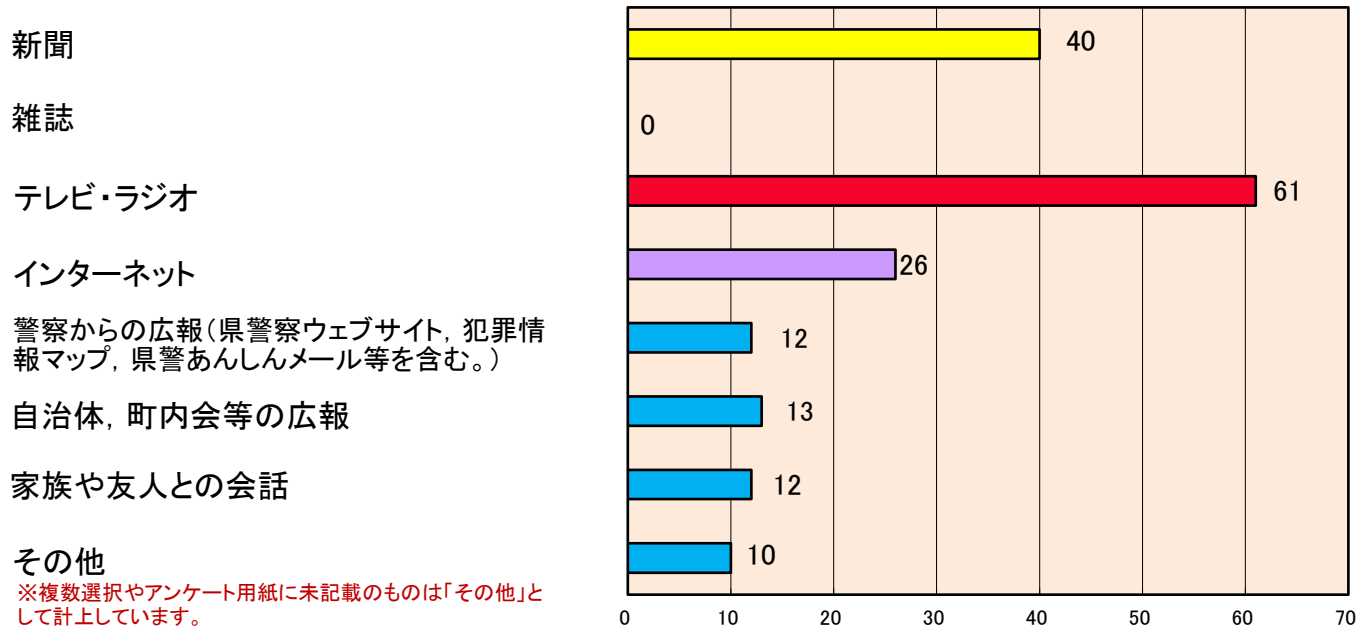
〈主な回答〉

- ・ 地域の犯罪件数の増減について情報を得る機会がなかった
- ・ 現在の地域に住んで間がない
- ・ 不安を意識していなかった

2 治安や犯罪に関する情報について

問4 主にどのような方法で治安や犯罪に関する情報を入手していますか。

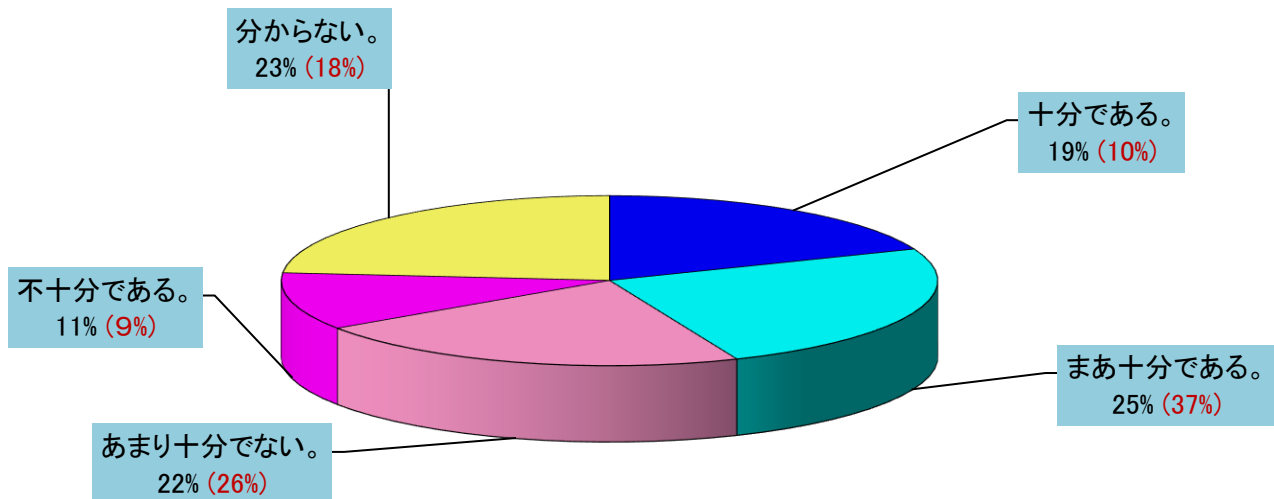
(単位:人)



治安や犯罪に関する情報の入手方法については、「テレビ・ラジオ」が最多で、次いで「新聞」、「インターネット」の順に回答が多い。その他の意見として「近隣住民」等があった。

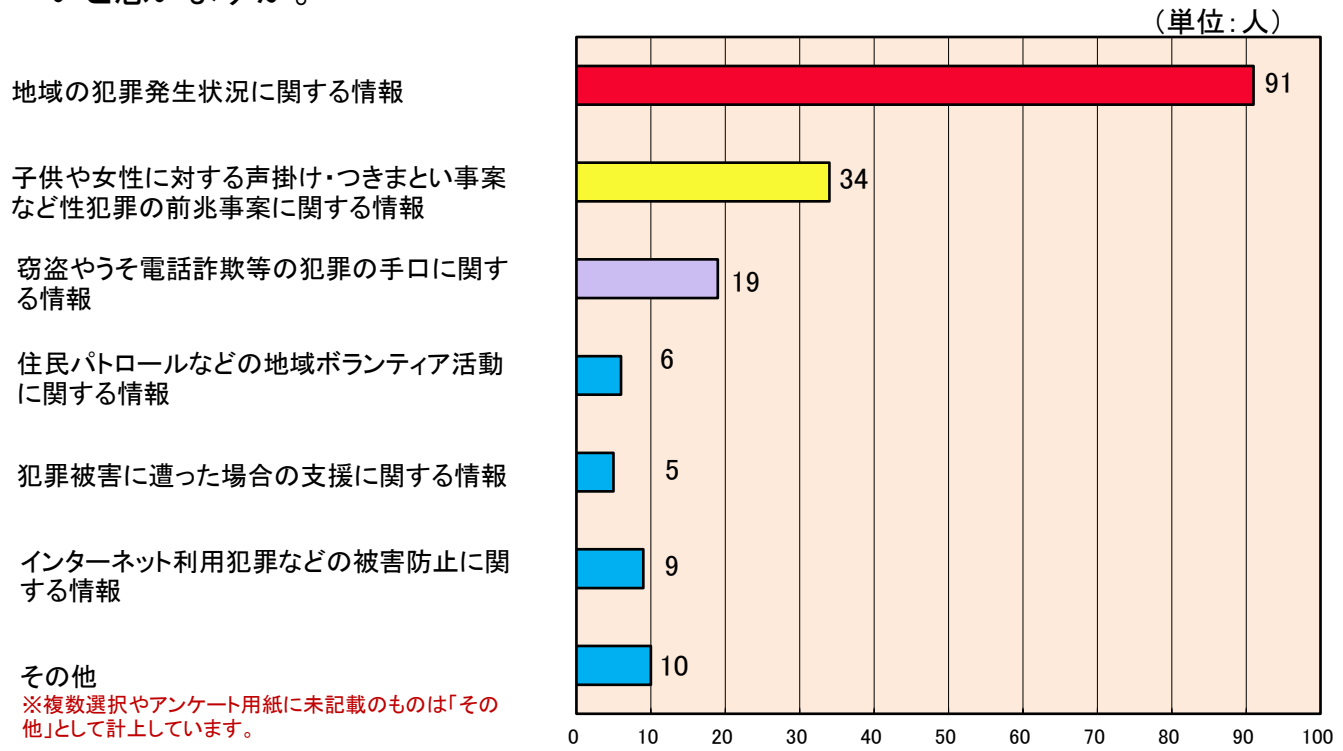
※()は、前回アンケート結果(令和3年1月実施)

問5 警察及び自治体からの治安や犯罪に関する情報提供は十分であると思いますか。



警察や自治体からの治安情報等の提供について、「十分である。」又は「まあ十分である。」と回答した方は44パーセントで、前回の調査時より3ポイント減少した。また、「不十分である。」又は「あまり十分でない。」と回答した方は33パーセントで、前回の調査時より2ポイント減少した。

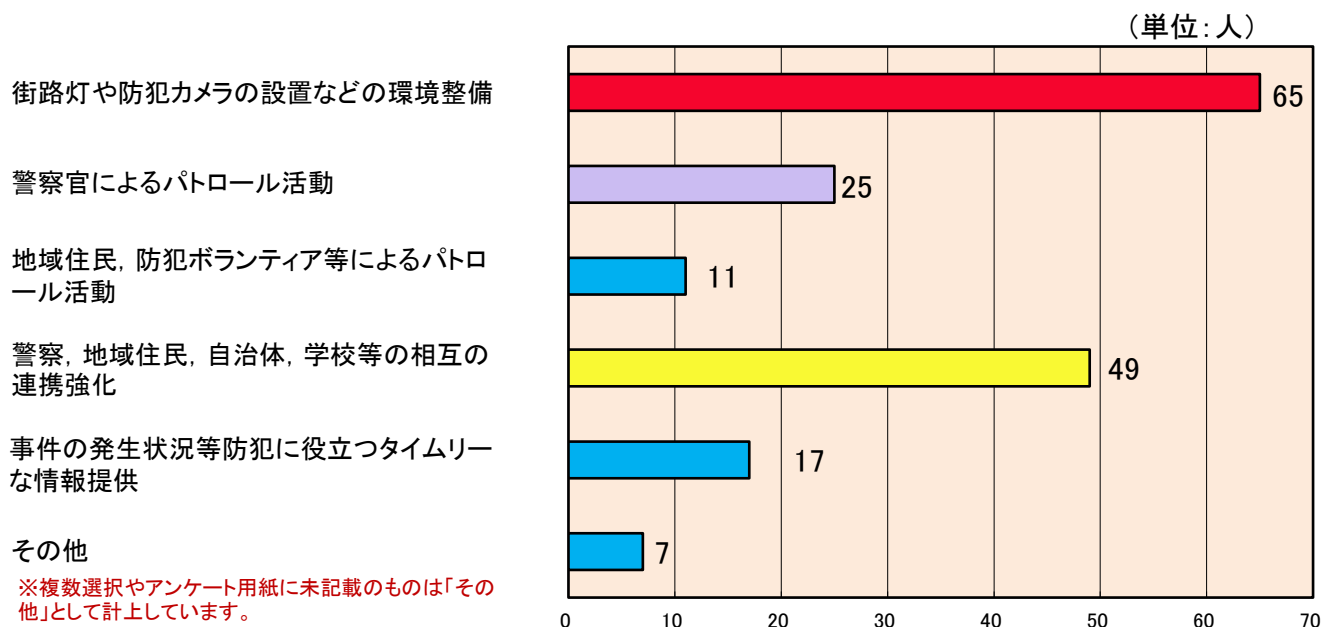
問6 治安や犯罪に関する情報として、警察から特にどのような情報が提供されたら良いと思いますか。



警察や自治体に提供を求める情報については、「地域の犯罪発生状況に関する情報」が最多で、次いで「子供や女性に対する声掛け・つきまとい事案など性犯罪の前兆事案に関する情報」, 「窃盗やうそ電話詐欺等の犯罪の手口に関する情報」の順に回答が多い。

3 犯罪の起きにくい社会づくりについて

問7 犯罪の起きにくい社会づくりを実現するためには、特にどのような取組が必要であると思いますか。

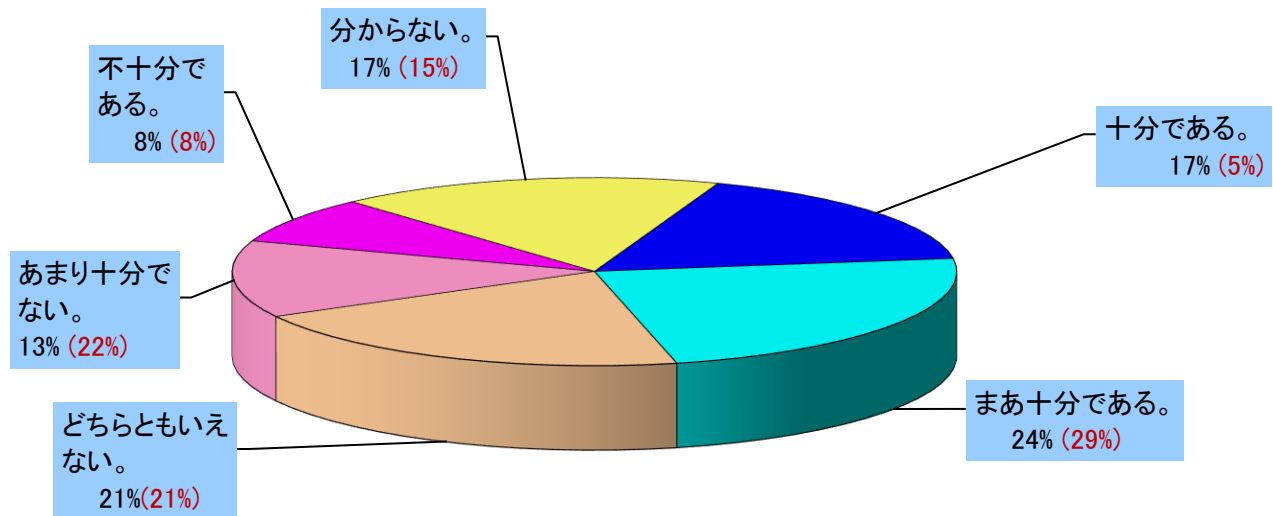


「犯罪の起きにくい社会づくりを実現するための取組」については、「街路灯や防犯カメラの設置などの環境整備」が最多で、次いで「警察, 地域住民, 自治体, 学校等の相互の連携強化」, 「警察官によるパトロール活動」の順に回答が多い。

4 交番・駐在所の活動について

※()は、前回アンケート結果(令和3年1月実施)

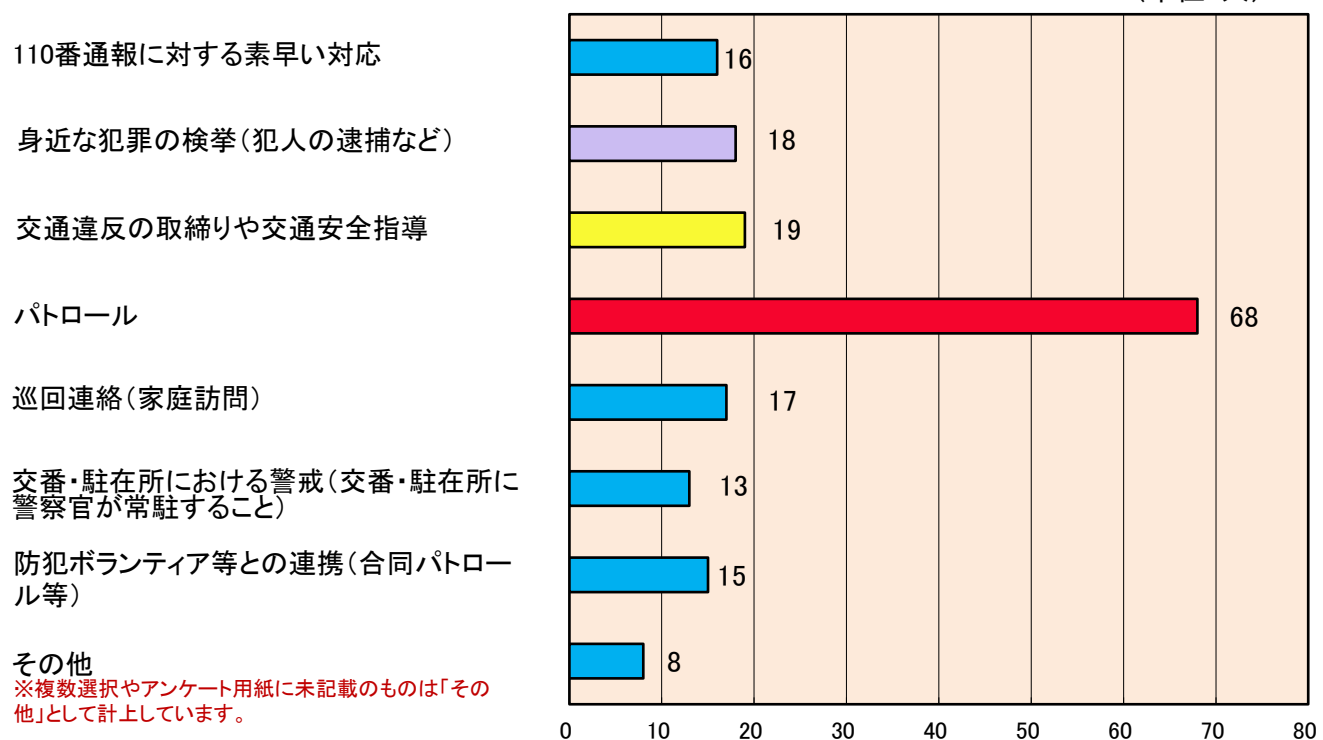
問8 近くの交番・駐在所の警察官の活動について、十分であると思いますか。



「近くの交番・駐在所の警察官の活動」について、「十分である。」又は「まあ十分である。」と回答した方は41パーセントで、前回の調査時より7ポイント増加し、「不十分である。」又は「あまり十分でない。」と回答した方は21パーセントで、前回の調査時より9ポイント減少した。

問9 今後、交番や駐在所の警察官にどのような活動を特に強化してほしいと思いますか。

(単位:人)

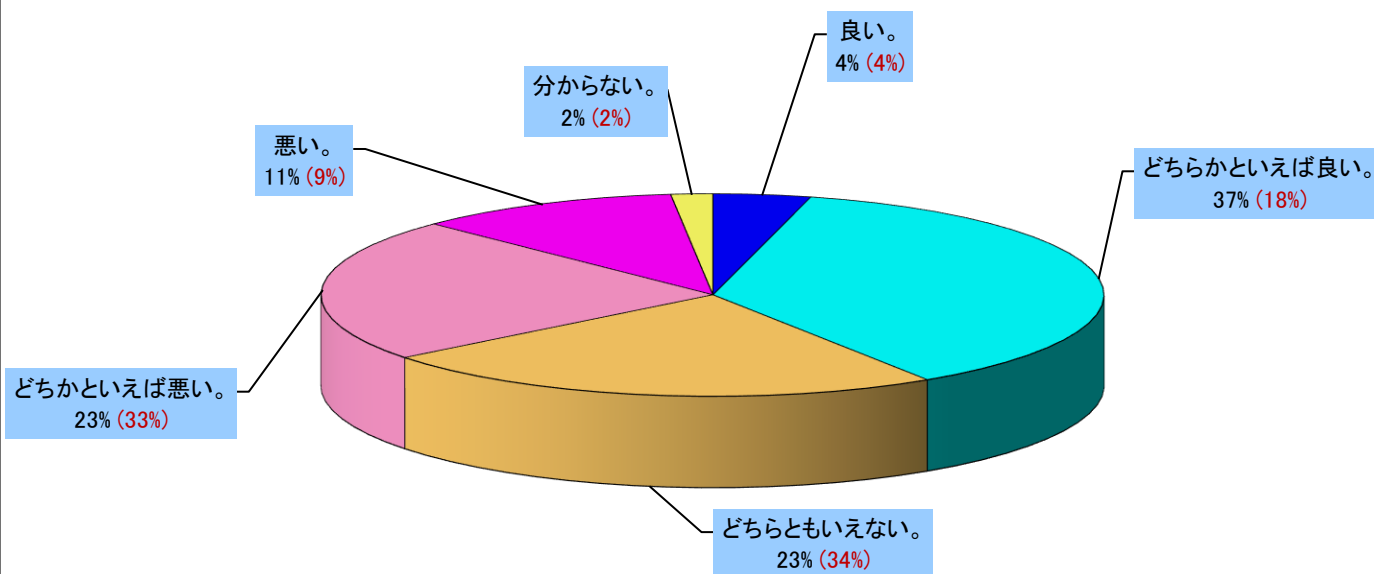


「今後、交番や駐在所の警察官に特に強化してほしい活動」については「パトロール」が最多で、次いで「交通違反の取締りや交通安全指導」、「身近な犯罪の検挙(犯人の逮捕など)」の順に回答が多い。その他の意見として「地域活動への参加」等があった。

5 交通事故抑止対策について

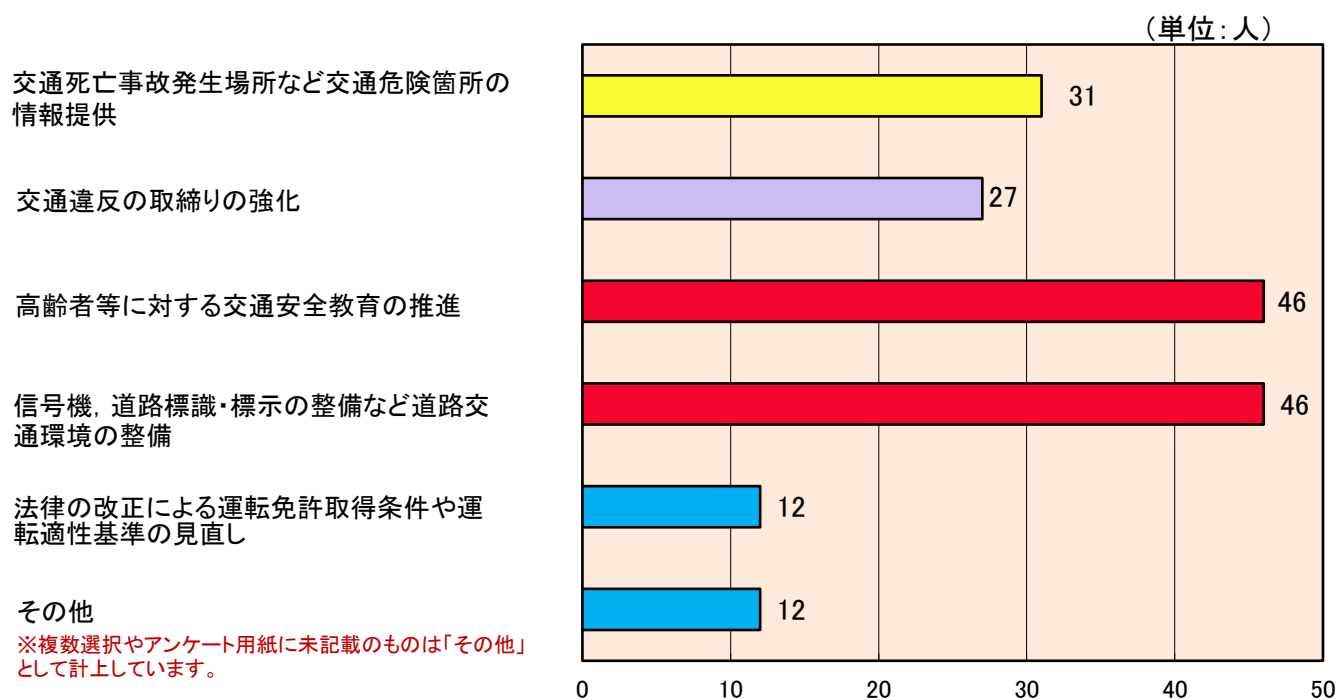
※()は、前回アンケート結果(令和3年1月実施)

問10 鹿児島県内の交通マナーについてどのように感じていますか。



「鹿児島県内の交通マナー」について、「良い。」又は「どちらかといえば良い。」と回答した方は41パーセントで、前回の調査時より19ポイント増加し、「悪い。」又は「どちらかといえば悪い。」と回答した方は34パーセントで、前回の調査時より8ポイント減少した。

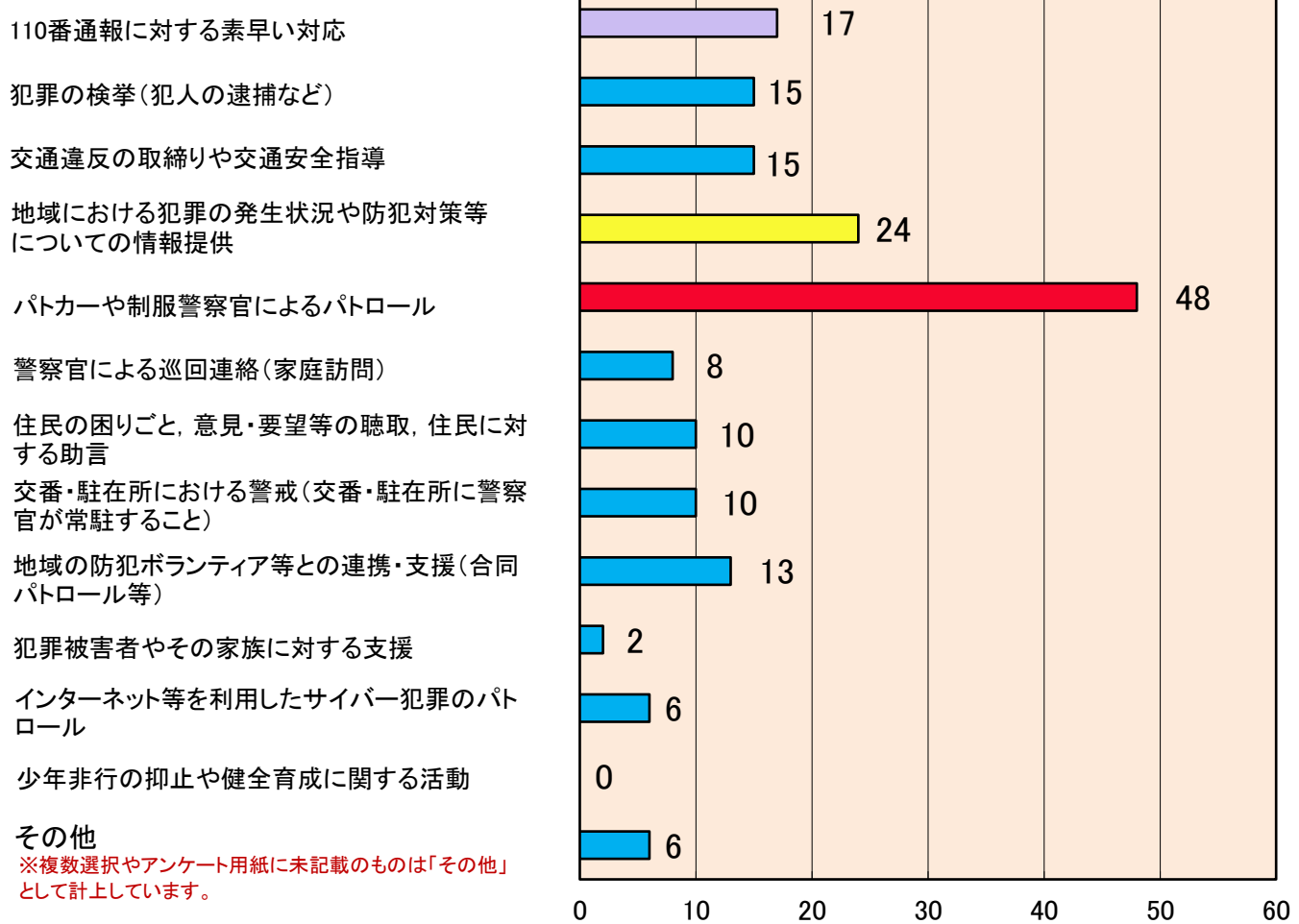
問11 交通事故抑止対策として、特に警察に力を入れてもらいたいことは何ですか。



「交通事故抑止対策として、特に警察に力を入れてもらいたいこと」については、「高齢者等に対する交通安全教育の推進」、「信号機、道路標識・標示の整備など道路交通環境の整備」が最多で、次いで、「交通死亡事故発生場所など交通危険箇所の情報提供」、「交通違反の取締りの強化」の順に回答が多い。その他の意見として「頻繁なパトロール」等があった。

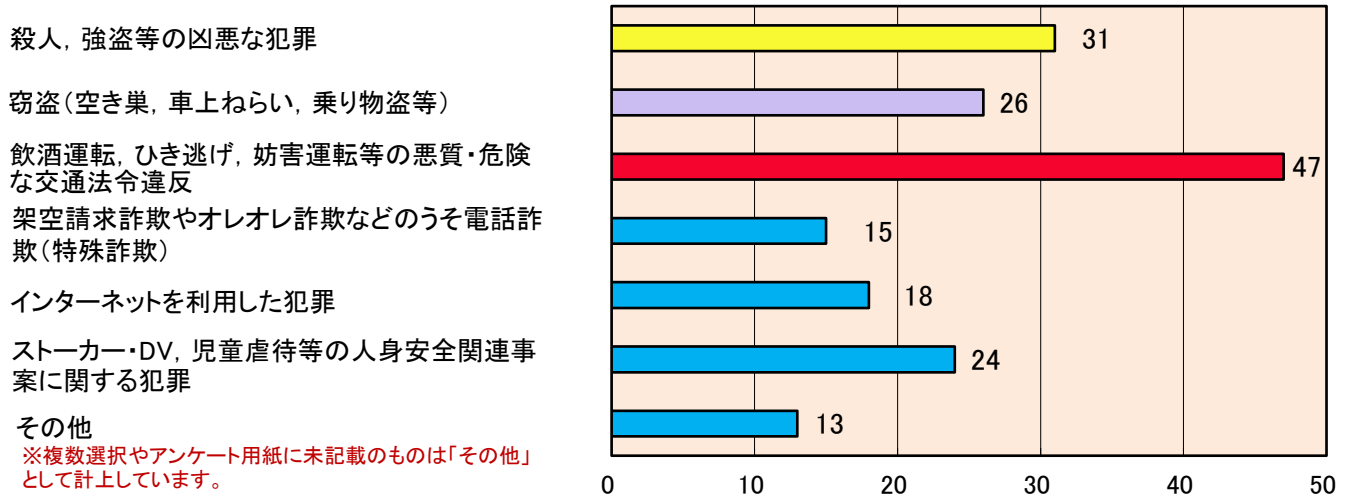
6 警察に対する要望について

問12 警察に特に力を入れてほしい活動として、どのようなものを望みますか。
(単位:人)



「警察に特に力を入れてほしい活動として望んでいること」については、「パトカーや制服警察官によるパトロール」が最多で、次いで、「地域における犯罪の発生状況や防犯対策等についての情報提供」, 「110番通報に対する素早い対応」の順に回答が多い。

問13 警察に特に力を入れて取り締まってほしいと思う犯罪は何ですか。
(単位:人)



「警察に特に力を入れて取り締まってほしい犯罪」については、「飲酒運転, ひき逃げ, 妨害運転等の悪質・危険な交通法令違反」が最多で、次いで、「殺人, 強盗等の凶悪な犯罪」, 「窃盗(空き巣, 車上ねらい, 乗り物盗等)」の順に回答が多い。その他の意見として「不法投棄に関する犯罪」等があった。